



平成26年度小笠原村立小笠原小学校

9月号 (H26.9.1)

学校だより

TEL 04998-2-2012

校長 西澤 盛和

2学期スタート

校長 西澤 盛和

この夏、高知、広島をはじめ日本各地で発生した自然災害による甚大な被害に心が痛みます。被災された方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

小笠原でも、西之島の溶岩流出がこのまま続けば斜面が崩落して父島に津波が押し寄せる恐れがあると言われていています。前野深・東京大地震研究所助教（火山地質学）のチームがまとめた分析結果によると父島側の東斜面が崩れると、津波は高さ1メートル超に達する可能性があり、130キロ離れた父島には17～19分で津波の第1波が到達し、2～3分おきに何度か押し寄せるといことです。崩落がいつ起きるのか予測は難しいといことですから、常に細心の注意を払う必要があります。

村から「父島津波浸水ハザードマップ基本図」が全戸配布されました。それを十分に読み、各地区の避難場所を確認し、発災の時には迅速に適切な行動がとれるようにご家庭で確認しておいてください。特に「家族の集合場所」を決めておくことが肝心です。家族を探しに行って被災する例は少なくありません。

発災時、児童が学校にいる場合には警報が解除されるまで、学校で児童を保護し続けます。引き渡しなどの措置を取る場合にはその都度連絡いたします。

本日9月1日総合防災訓練を実施いたしました。子どもたちに改めて津波の危険性を話し、避難について確認しました。2学期のスタートにあたり、災害に対する万全な準備をすることで、たとえ災害が発生したとしても、その被害を最小限にとどめられるようにしていきます。2学期もどうぞ宜しくお願いいたします。

9月の行事予定			16	火	全校朝会	☉ヨーグルト
1	月	始業式、避難訓練（村防災）	17	水	児童集会（ゲーム）、職員会議	
2	火		18	木	発育測定（全）	
3	水	児童集会（9月誕生）	19	金		SC
4	木	弁当始、保護者会 全体:14:45 学年:15:15	20	土		
5	金	水泳指導終、図書ボランティア 9:30～ SC	21	日		
6	土		22	月	全校朝会、	☉ヨーグルト
7	日		23	火	秋分の日	
8	月	全校朝会、運動会特別時程始	24	水	児童集会（運動）、芝生の日	
9	火		25	木		
10	水	児童集会（音楽）、芝生の日	26	金	連合運動会合同練習 13:30（1～3年も6時間）	
11	木	☉ヨーグルト飲料	27	土		
12	金	SC	28	日	ブイフロート撤去	
13	土		29	月	全校朝会	
14	日		30	火	連合運動会予行練習 8:15～12:00、☉デザート	
15	月	敬老の日				

9月の生活目標
「生活にけじめをつけよう」

担当 浜田麻衣子

2学期が始まりました。早寝早起き朝ご飯などの生活リズムを整え、元気に登校しましょう。

- ・チャイムを守ろう
- ・ルールを守ろう
- ・生活リズムを整えよう
- ・時計を見て生活しよう

学校で、みんなが気持ち良く生活できるように、ルールを守って生活をしましょう。



9月の安全目標

担当 斎藤直樹

「自然災害時の避難場所を知ろう」
「階段や廊下を静かに歩いて、教室移動をしよう」

本校では万が一に備え、引き渡し訓練を通して避難場所の確認を行っています。ご家庭でも避難場所についてご確認ください。

もう一つの目標についても、廊下の右側通行等の指導をしていきます。

3年クラス紹介 担任 清水 智

男子14名女子7名、合計計21名の3年生です。社会科、理科、総合的な学習の時間と新たな学習が始まりました。施設や生き物などを調べるために、地域に出かけて学ぶ機会が多くなり、街中で見かけることもあるのではないのでしょうか。

3年生のクラスで取り組んでいることの一つに「ボトムアップ」があります。大人や誰かに言われて始めるのではなく、「自分から」行うことです。

1学期は身の回りの整理整頓を中心に取り組みました。ご来校の際には、3年生の下駄箱をぜひご覧ください。靴のかかとをそろえる事を続けてきました。これを自分たちの「習慣」として行っているところに4月からの成長が見られます。

2学期のキーワードは「コーディネート」です。「ボトムアップ」で始まった行動に、自分なりの「考え」「判断」を加えることです。型から少しずつ抜け出していければと思います。

学校のために、クラスのために、人のために行動できる＝考動できる3年生クラスになっていきます。ご期待ください。



「ヤシの木教室の紹介」担当 板垣里沙・田中成和

小笠原小学校には、1～6年生の学級の他に「ヤシの木教室」という学級があります。ヤシの木は、日頃の学校生活の中で“困ったな”“どうしらいいかわからないな”という児童が通う学級です。今年度は、教員2名、教育支援員2名の計4名で運営し、主に生活面・学習面を中心に、在籍する学級によりスムーズに適應できるような指導を心がけています。学習の基本は、“わかる・できる・楽しい”の三拍子です。その子がどこでつまづいているかに着目し、担任の先生と連携しながら算数でティームティーチングに入るなど、学習に支障が無いよう一人一人のペースに合わせて学習を進めていきます。

学校生活の中で見られる主な課題

【生活面】

授業中にじっとしてられない・順番が待てない・予定外のことを受け入れるのが困難等

【学習面】

文字の形を捉えにくい・黒板の字をノートに書き写すのに時間がかかる・暗記が苦手等

学習する時間に関しては、保護者の方と担任の先生と相談して決定しています。通常の学習時間の1コマだったり放課後の時間を利用したりすることもあります。上記の課題に関わらず、お子さんが学校生活を送る上で何か心配な点があれば、学級担任を通して一度ご相談にいらしてください。